

# 仮設屋根設置工の作業手順書

制定・改定日 2022.7.21

項 目	内 容	留 意 事 項
準 備 工	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業内容の確認</li> <li>作業人員の確認</li> <li>保護具の確認</li> <li>保護具の点検</li> <li>使用機械、資材、工具の点検</li> <li>規制内容の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指示書の内容確認</li> <li>安全打合せ書による。</li> <li>作業別安全チェックシートの活用。</li> <li>KY活動</li> </ul>
足場設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>足場組立作業責任者の指揮監督のもと、作業を行う。</li> <li>設置は最下部から実施し、必要に応じて昇降施設を設け、小さな資材であっても小運搬・手渡し作業を行う。</li> <li>設計図に基づき、壁つなぎ、根がらみ等で全体を確実に固定する。</li> <li>手すり、中さん、幅木等 墜落防止措置を確実にを行う。</li> <li>人道BOX内を通行できるよう、通路の確保及び通路上部に足場を設置しないようにし通行の妨げにならないようにする。</li> <li>作業上、通路上部に足場を設置する場合は、事前にエリアキャストに知らせ、通行する場合は取り外し妨げにならないようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フルハーネスの確実な着用。</li> <li>長尺の資材等は必要に応じて介錯ロープ等を使用する。</li> <li>道具類には、落下防止処置を行う。</li> <li>足場板等の確実な固定</li> <li>開口部の閉鎖処置</li> <li>クランプ等の閉め忘れ確認</li> <li>エリアキャストへの情報共有</li> </ul>
支柱位置墨出し	<ul style="list-style-type: none"> <li>図面及び現地の状況を確認し支柱固定ベース位置を出す。</li> <li>固定ベース位置が決まり次第、アンカー削孔位置を出す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フルハーネスの確実な着用。</li> <li>道具類には、落下防止処置を行う。</li> </ul>
支柱取付	<ul style="list-style-type: none"> <li>固定ベースに支柱を取り付ける。</li> <li>取付の際、ロケピンの確認及び支柱の垂直方向を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フルハーネスの確実な着用。</li> <li>道具類には、落下防止処置を行う。</li> </ul>
垂木・屋根材等設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>支柱に単管をクランプにて取り付ける。</li> <li>支柱に垂木をテックスにて取り付ける。</li> <li>垂木に屋根材(タタノ)を取り付ける。</li> <li>作業上、通路上部に足場を設置する場合は、事前にエリアキャストに知らせ、通行する場合は取り外し妨げにならないようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フルハーネスの確実な着用。</li> <li>道具類には、落下防止処置を行う。</li> <li>取付位置の確認を行う。</li> <li>エリアキャストへの情報共有</li> </ul>
足場解体	<ul style="list-style-type: none"> <li>足場組立作業責任者の指揮監督のもと、上方より作業を行う。</li> <li>人道BOX内を通行できるよう、解体資材を階段の片側に寄せ、通路の確保をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>フルハーネスの確実な着用。</li> <li>資材の投げ降ろし禁止</li> <li>道具類には、落下防止処置を行う。</li> <li>エリアキャストへの情報共有</li> </ul>
後片付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>規制材の撤去や使用した道具、機材、余った材料等は、トラックに積み込み、最後に竹ぼうきなどで清掃する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように確認する。</li> <li>材料かすが無い様に、綺麗に清掃する。</li> </ul>

作業編成(標準)			機材		資材	安全器具・保護具	
作業責任者	1	名	4tユニック車	電工ドラム		ヘルメット	フルハーネス
現場監視員	1	名	2tユニック車			反射(自発光)チョッキ	落石防止ネット
作業員	3	名	2tトラック			警笛	
			連絡車			防塵マスク	
			発電機			保護メガネ	
			ハンマードリル			耳栓	
			インパクトドライバー			耐切創用手袋	

※現場で作業手順を変更する場合は作業を中止し、作業責任者からメンテ名古屋担当者に報告・相談する。

## ■注意事項(共通の指導事項)

1. 作業に合った保護具を使用する。
2. 各作業は、有資格者による作業を行う事。
3. 火災防止処置を行う事。(消火器の設置)
4. 手持ち式振動工具については取扱を十分理解し、使用する。
5. エリアキャストへの情報共有
6. 一人作業の禁止